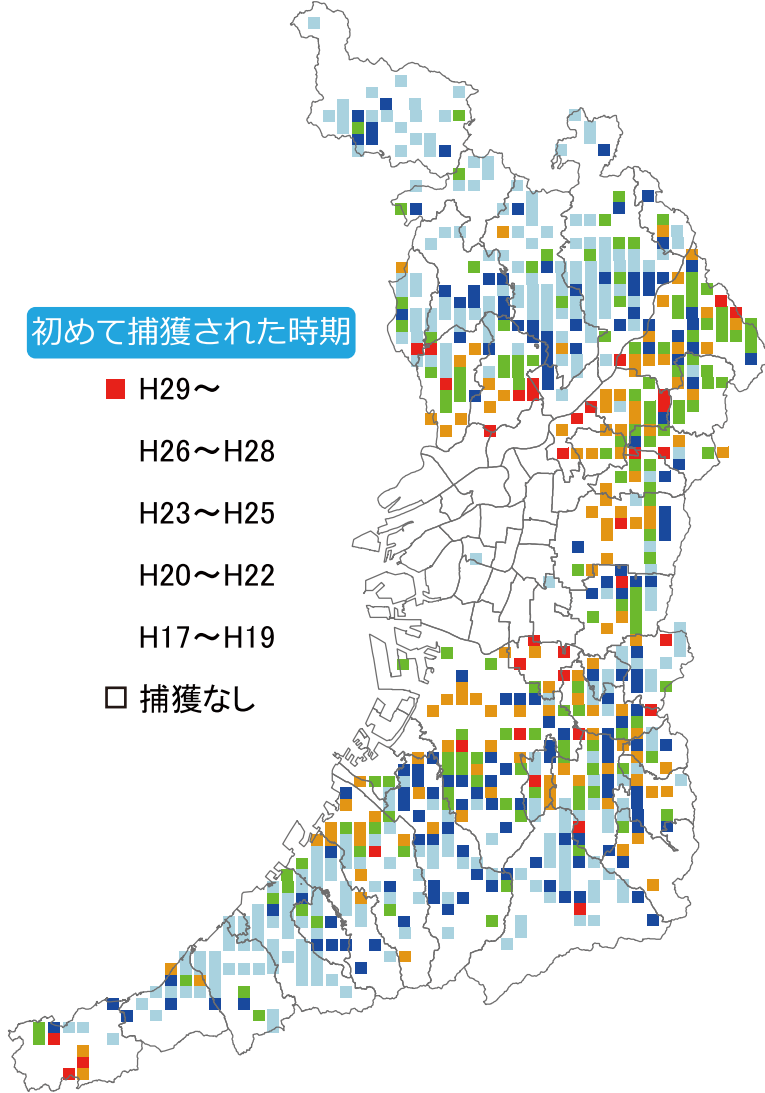


府内での分布状況

分布域の拡大傾向

* 捕獲地点を3次メッシュ（約1km²）ごとに集計

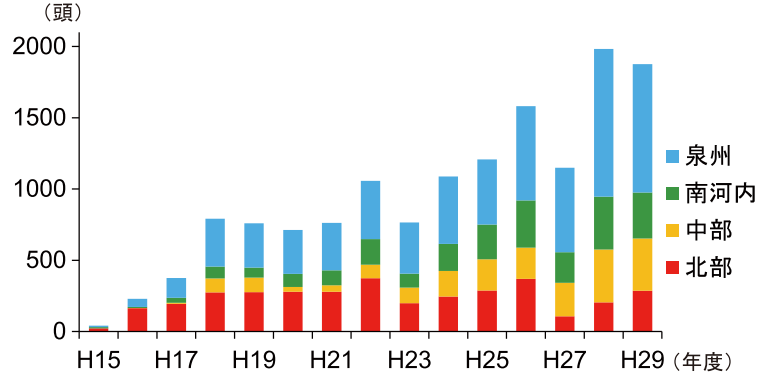


初めて捕獲された時期

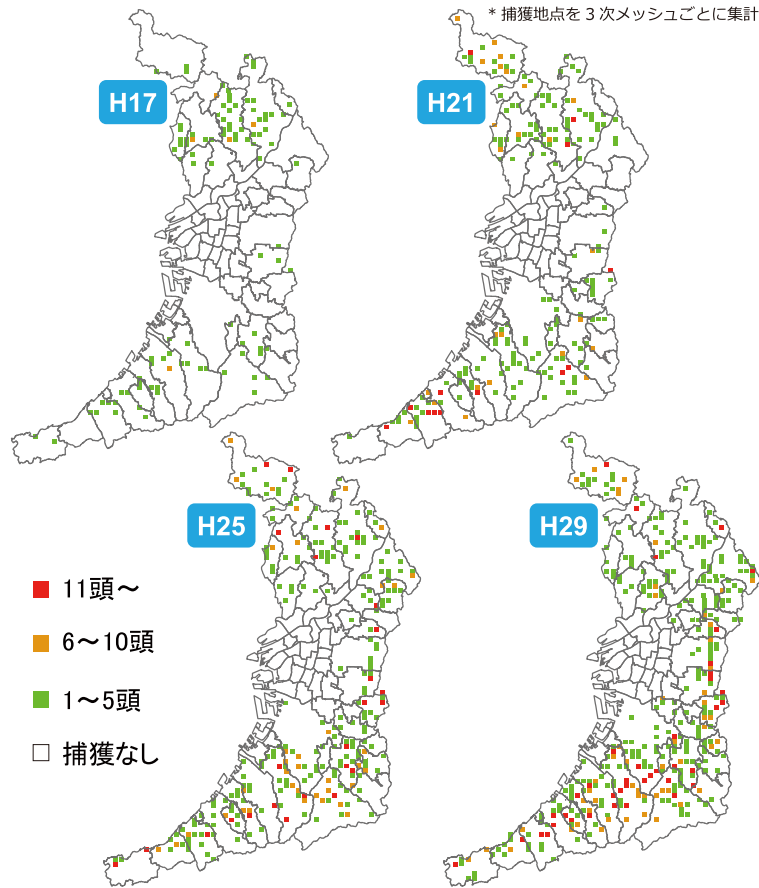
- H29～
- H26～H28
- H23～H25
- H20～H22
- H17～H19
- 捕獲なし

- 初期の分布域は、北摂や泉州、南河内地域が中心でした。
- H23年頃からは、中部地域でも分布域が拡大し始めました。
- 今では都市部や沿岸部でも捕獲されており、分布域は府内のほぼ全域へと拡大し続けています。

捕獲数の推移



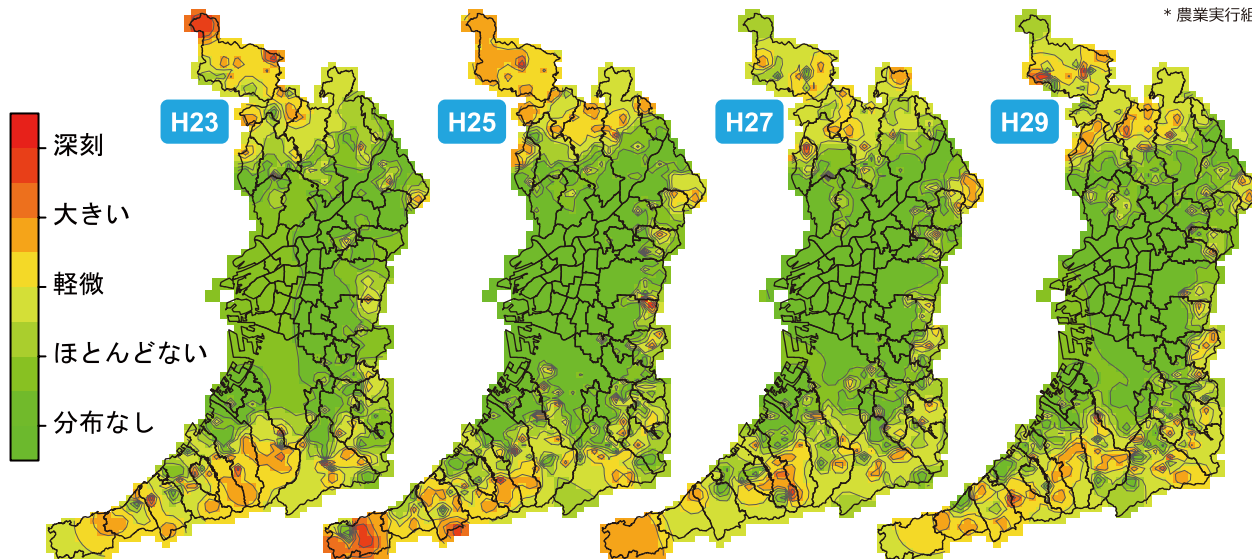
捕獲地点の推移



- 11頭～
- 6～10頭
- 1～5頭
- 捕獲なし

農業被害の分布と推移

* 農業実行組合長へのアンケート調査結果から作成



- 府内では、イノシシ・シカに次ぐ規模の農業被害がアライグマによって生じています。
- 分布域の拡大とともに、被害発生地域も広がってきています。